

# 集落営農組合の法人化を契機に話し合いを進めて作成したプラン

よこてし じゅうもんじ

(秋田県横手市十文字地域(H24.10作成、H27.8見直し))

## 《概要・データ》

地域の特徴	横手市の南部に位置する平坦地。水稻、大豆のほか、菊等の花卉栽培が盛ん。 地域内農家数1,478戸、地域内農地面積2,426ha
中心経営体	個別経営259名、法人経営12、任意団体11
出し手となる農業者	86名《提供予定農地面積 116ha》
農地集積	現状(H25) 1,834ha(集積率75.6%) →目標(H28) 2,062ha(集積率85%)



ニツ橋地域の話し合いの様子

## 《特徴的な取組》

- ・ 人・農地プランの作成を進めるにあたり、地域が抱える課題は、高齢化や土地持ち非農家の無関心等、多様なことから地域内すべてを同時に進めることは困難であった。
- ・ このため、農業者の高齢化や農業用機械の老朽化の課題を集落営農の法人化により解決を図る機運が高まっている「ニツ橋地域」を先行して話し合いを進め、優良事例として市が周知することで地域全体への波及を図った。
- ・ ニツ橋地域では、プランの話し合いの結果をもとに、新たに設立した農業法人((農)ニツ橋)を中心に農地集積を進めるとともに、水稻・大豆・そば等、共通の農業用機械を活用できる作物に取り組み、効率的で低コストな生産体制を構築し、安定的・永続的な法人経営を目指すこととしている。
- ・ 話し合い等を元に地域内で農地中間管理機構に貸し出すことを希望した農地については、(農)ニツ橋が中心に引き受け、平成26年度は機構を通じて60.6haの農地を借り受けた。

(横手市位置図)



## 《プラン作成・見直しの経緯》

- ・ 平成24年10月に十文字地域(46集落)プラン決定。
- ・ 平成25年10月、平成26年1月、平成26年5月、平成26年12月、平成27年8月に検討会を開催・見直し。